

品川歴史館開館40周年記念特別展「御殿山」について

1 開催趣旨

品川駅を眼下に見下ろす“御殿山”の歴史を取り上げます。前期では原始・古代から徳川吉宗が鷹狩りを行った頃まで、後期ではその後の現代までを紹介します。

会 期：前期／令和7年10月11日（土）～12月7日（日）

後期／令和8年1月17日（土）～3月8日（日）

休 館 日：月曜日（祝日または休日は開館し火曜日に休館）

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

観 覧 料：一般300円、小中学生100円

70歳以上の方、障害のある方、区立学校・区内在住の小中学生は無料

2 内 容

前期／「徳川将軍の御殿山」への道

第一章：御殿山のはじまり 第二章：港と霊場

第三章：江戸城防衛の要衝 第四章：将軍の鷹狩

後期／名所の移り変わり

第一章：江戸の名所へ 第二章：諸外国との交渉の中で

第三章：開かれる御殿山

3 主な展示品

品川御殿図（当館所蔵）、御殿山遺跡出土遺物（品川区教育委員会所蔵）、享保御成記（国文学研究資料館所蔵）、平野父翁昔日語（北海道大学大学文書館所蔵）ほか

4 予算額 14,100千円

（展示製作委託費、資料運搬費、チラシ・ポスター印刷費など）

5 周 知

広報しながわ10月1日号、品川歴史館ホームページ、チラシ、東急電鉄車内広告、東急バス車内広告、JR品川駅サイネージ、新聞広告、オンライン広告 ほか

6 その他

* 記念講演会「考古学からみた御殿山～御殿山遺跡と中世石塔群～」

講師：立正大学文学部史学科准教授 本間 岳人氏

日時：11月9日（日） 午後2時～4時

* **記念講演会「近代の御殿山」**

講師：品川歴史館学芸員 金子 千秋

日時：令和8年2月14日（土） 午後2時～4時

* **学芸員による展示解説**

日時：10月25日（土）・12月6日（土）・令和8年1月31日（土）・3月8日（日）

午後2時～3時

* **特別展記念茶会 ※茶室「松滴庵」公開**

品川区華道茶道文化協会協力 品川歴史館の書院でお茶を楽しめます。

11月3日（月・祝） 午前10時～午後4時 5回実施、各回20人定員

品川区立品川歴史館
開館40周年記念特別展

御殿山

前北斎為一画 富嶽三十六景 東海道品川御殿山ノ不二

前期 令和7年 2025 10月11日 土 ~ 12月7日 日
後期 令和8年 2026 1月17日 土 ~ 3月8日 日

● 開館時間 午前 9 時から午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)

● 休館日 毎週 月曜日 (祝日または休日の場合は開館し、火曜日に休館)、
年未年始 (12月29日 日 ~ 1月3日 日)
※12月9日(火)~1月16日(金)は、会場の特別展示室を休室します。

● 観覧料 一般 300円 小・中学生 100円

※20名以上の団体は2割引

※70歳以上の方、障害のある方、品川区立学校・区内在住の小・中学生は無料

前期

「徳川将軍の御殿山」への道

縄文時代から古墳時代の暮らし、中世の港を望む葬送と供養の山、そして近世の江戸幕府三代将軍徳川家光の御殿整備、八代将軍徳川吉宗の鷹狩りによる御成までの歴史をたどります。

第一章 御殿山のはじまり

古代の御殿山の暮らし



御殿山遺跡出土遺物（第8次調査）
7世紀初頭 品川区教育委員会蔵

第二章 港と霊場

中世の御殿山は葬送と供養の場



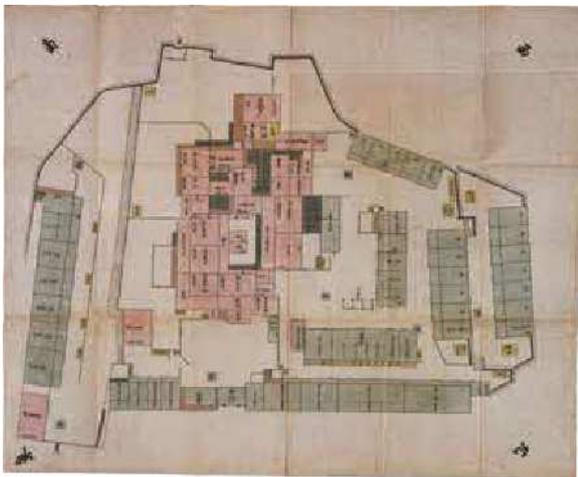
御殿山出土板碑（法禅寺板碑）
1349（貞和5）年
法禅寺所蔵・当館寄託



玉輪東上日々真景縮写帖
明治時代 個人蔵

第三章 江戸城防衛の要衝

「御殿山」の名前はここから



品川御殿図
江戸時代 当館所蔵 ※期間中複製と展示替えあり

第四章 将軍の鷹狩

徳川家に伝わる御成の記録



享保御成記（田安德川家資料）
1717～1722（享保2～7）年 国文学研究資料館所蔵

記念講演会

考古学からみた御殿山～御殿山遺跡と中世石塔群～

講師：本間岳人氏（立正大学准教授）

日時：令和7年11月9日（日）14時～16時

会場：当館2階講堂

※定員70人。事前申込制。応募が定員を超えた場合は抽選です。
※詳しい内容や申し込み方法は品川歴史館ホームページを御覧ください。

展示解説

講師：金子千秋（当館学芸員）

日時：令和7年10月25日（土）、

12月6日（土）14時～15時

会場：当館2階講堂

※定員70人（先着順）。事前申込みはありません。
当日直接会場へお越しください。各回同じ内容です。

後期 名所の移り変わり

八代将軍徳川吉宗が一般開放し、花見の名所となった御殿山が、幕末以降、御台場や鉄道建設、宅地化という変化を経て、今に続く由緒と景観を残すエリアとなるまでをたどります。

第一章 江戸の名所へ 品川随一の行楽地



東都名所 御殿山花見 品川全区
初代歌川広重画
1832～1842(天保3～13)年 当館所蔵
※期間中複製と展示替えあり

第二章 諸外国との交渉の中で 御台場建設で変化した御殿山



御殿山絵図
1861～1863(文久元～3)年頃 個人蔵
※期間中複製と展示替えあり

第三章 開かれる御殿山 鉄道建設に携わった人の日記



平野父翁昔日語
幕末～明治時代 北海道大学大学文書館所蔵

財界人の邸宅



絵葉書 品川碧雲台諸景(益田孝の邸宅)
明治～大正時代 当館所蔵

記念講演会

近代の御殿山

講師：金子千秋(当館学芸員)

日時：令和8年2月14日(土) 14時～16時

会場：当館2階講堂

※定員70人。事前申込制。応募が定員を超えた場合は抽選です。
※詳しい内容や申し込み方法は品川歴史館ホームページを御覧ください。

展示解説

講師：金子千秋(当館学芸員)

日時：令和8年1月31日(土)、

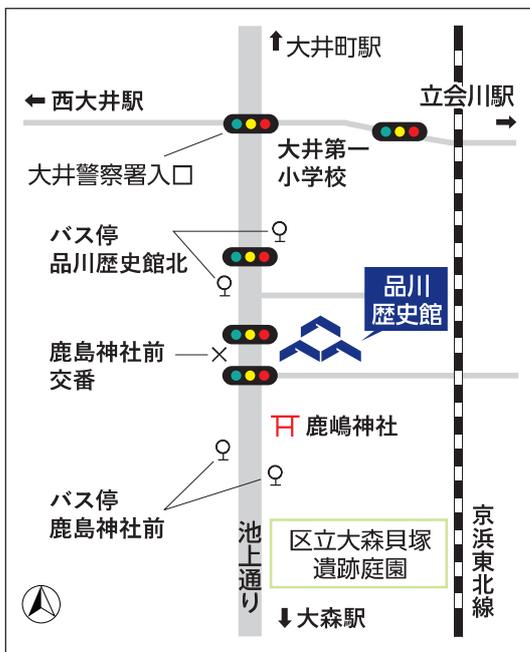
3月8日(日) 14時～15時

会場：当館2階講堂

※定員70人(先着順)。事前申込みはありません。
当日直接会場へお越しください。各回同じ内容です。

品川区北品川に所在する御殿山は、江戸時代には桜の名所として名を馳せ、現代では高層住宅やオフィスがならぶ、品川駅を眼下に見下ろす地に位置しています。御殿山は、古くは縄文時代や古墳時代の遺跡が所在し、中世においては、太平洋海運の拠点である港を見下ろす葬送と供養の場でした。近世には、江戸幕府三代将軍徳川家光が御殿を整備し、また八代将軍徳川吉宗による園地開放によって、花見で賑わう行楽地となっていきます。そして幕末には品川御台場築造のための土取りや外国公使館の建設が行われ、明治時代には政財界の要人の邸宅が建設されるなど、新時代の要所として絶えず変化していくエリアでした。本展では、前期と後期の2部構成で品川を代表する名所である御殿山の歴史を通じて捉え、紹介していきます。

交通案内



- JR大森駅下車、北口改札を出て池上通りを大井町駅方面に徒歩10分
- JR・東急・りんかい線大井町駅下車、大森駅方面に徒歩15分または東急バス蒲田駅行・池上駅行で鹿島神社前下車、徒歩1分
- JR西大井駅下車、しなバス大森駅北口行にて品川歴史館北下車、徒歩1分
- 京浜急行線立会川駅下車、徒歩13分



品川歴史館外観



品川歴史館常設展示室



品川
区立 品川歴史館
Shinagawa Historical Museum

〒140-0014 東京都品川区大井6-11-1
TEL 03-3777-4060 FAX 03-3778-2615

ホームページ

